

台風第14号等による被害状況等について（第1報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表（9/18 7:00）

- 大型で非常に強い台風第14号は、6時現在屋久島の南南東の海上にあって北北西に進んでいる。台風の接近に伴い、九州南部では、屋久島で最大瞬間風速39.5メートルを観測し、猛烈な風が吹き、海上はうねりを伴い猛烈なしけとなっている所がある。
- 台風は19日にかけて九州の西を北上し、九州へ上陸するおそれ。その後、次第に進路を東よりに変えて、20日にかけて本州付近を北東へ進むため、西日本から北日本の広い範囲で台風の影響を受ける。
- 西日本を中心に19日にかけて暴風となり、九州南部・奄美地方と九州北部地方を中心に一部の住家が倒壊するおそれもある猛烈な風が吹く。また、西日本ではうねりを伴って猛烈なしけとなり、東日本でも大しけとなる所がある。
- 台風周辺や台風本体の発達した雨雲により、19日にかけて西日本や東日本の太平洋側を中心に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、大雨となる。
- 暴風や高波、高潮、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。鹿児島県では、これまでに経験したことのないような暴風や高波、高潮となるおそれがある。また、九州では記録的な大雨となるおそれがある。なお、九州南部・奄美地方、九州北部地方、四国地方では19日午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。

2 体制等

- 非常体制：本省、国土地理院、気象庁、国総研
- 警戒体制：九州地整、九州運輸
- 注意体制：北海道開発、関東運輸、中部運輸、近畿地整、近畿運輸、神戸運輸、四国地整、四国運輸

3 被害情報等

(1) 河川（9/18 8:00 時点）

- 国管理河川
 - ・被害情報なし。
- 都道府県管理河川
 - ・被害情報なし。

(2) ダム（9/18 8:00 時点）

- 事前放流の基準に達したダム 170 ダム
 - ・事前放流を実施 100 ダム（うち、利水ダム66）
 - ・すでに事前放流の容量を確保 70 ダム（うち、利水ダム41）

(3) 砂防

- 土砂災害（9/18 8:00 時点）

現時点で発生情報無し

○土砂災害警戒情報（9/18 8:00 時点）

3 道県 3 市町に発表

（北海道、宮崎県、鹿児島県）

※3 道県 3 市町で継続中

（北海道、宮崎県、鹿児島県）

(4) 道路（9/18 8:30 時点）

○高速道路 2 路線 5 区間

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：

E3 九州道（えびの IC～栗野 IC）【2 区間】強風

E10 宮崎道（えびの JCT～都城 IC）【3 区間】強風

○有料道路 2 路線 11 区間

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：

一ツ葉有料道路（北線・南線）【7 区間】強風

指宿有料道路（谷山 IC～^{えい}顛娃 IC）【4 区間】強風

○直轄国道

被災による通行止め：なし

○補助国道

被災による通行止め：なし

○都道府県道等

被災による通行止め：なし

(5) 鉄道（9/18 8:00 時点）

○施設被害

該当なし

○運行状況

現在、運転を見合せている路線：12 事業者 42 路線

今後、運転を見合わせることを発表している路線：7 事業者 21 路線

(6) 空港（9/18 7:00 時点）

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

16 日 欠航便 2 便（日本エアコミューター 2 便）

17 日 欠航便 243 便（ANA14 便、JAL110 便、その他 119 便）

18 日 欠航便 838 便（ANA206 便、JAL298 便、その他 334 便）

(7) 海事 (9/18 6:30 時点)

○136 業者 153 航路において運休または一部運休

(8) 自動車 (9/17 23:00 時点)

○バスの被害状況等

- ・高速バス：4 社 12 路線運休、1 社 1 路線一部運休
- ・路線バス：1 社 1 路線運休

○宅配事業者：大手 5 社において一部地域で集配遅延等

(9) 港湾 (9/18 8:00 時点)

○施設被害

- ・現時点での被害情報なし。

○臨港道路

- ・周南大橋（山口県・徳山下松港）が 9/19 の 9:00 より通行止め

(10) 海岸、下水、公園、都市、物流、観光

○現時点で被害情報なし

4 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

○国土交通省災害対策連絡調整会議 (9/16)

○国土交通省特定災害対策本部 (9/17)

(2) 記者会見

○合同記者会見（水管理・国土保全局・気象庁 9/17 11:00、22:40）

(3) ホットライン構築状況

北海道、四国、九州の 123 市町村とホットラインを構築（北海道 1、徳島 3、愛媛 1、高知 1、福岡 12、佐賀 11、長崎 14、熊本 11、大分 1、宮崎 26、鹿児島 42）

(4) TEC-FORCE 等【31 人派遣中】

○リエゾン：2 県 5 市町へ 14 人を派遣中（宮崎県 2、えびの市 2、鹿児島県 2、薩摩川内市 2、さつま町 2、伊佐市 2、湧水町 2）

○JETT:9/18 に 8 県へ 17 人を派遣（岩手県庁 2、山口県庁 3、福岡県庁 2、佐賀県庁 2、長崎県庁 2、熊本県庁 2、宮崎県庁 2、鹿児島県庁 2）

5 気象庁の対応

○暴風、高潮、波浪特別警報を以下の地域に発表
鹿児島県 (9/17 21:40 発表)

○気象庁災害対策本部会議 (9/17 13:30)

○国土交通省との合同記者会見 (9/17 11:00、22:40)

○各地の气象台では、台風の影響に応じて、順次台風説明会やホットライン等の実施により地方公共団体の防災対応を支援。

6 海上保安庁の対応 (9/18 7:30 時点)

(1) 体制等

○非常配備発令

第十管区海上保安本部 (一部部署)

○警戒配備発令中

第四管区海上保安本部

第五管区海上保安本部

第六管区海上保安本部

第七管区海上保安本部

第八管区海上保安本部

第十管区海上保安本部

第十一管区海上保安本部

※非常配備・警戒配備：海上災害の発生に備え、巡視船艇・航空機を即応体制としている状況。

(2) 対応状況等

○被害対応状況なし

○自治体等からの協力要請なし

(3) 投入勢力等

○船 艇：194 隻 (即応待機)

○航空機：24 機 (即応待機)

(4) 人員 特殊救難隊等の投入なし

(5) リエゾン 5 名

○鹿児島県庁 2 名

○鹿児島市役所 1 名

○宮崎県庁 2 名

(6) 航行警報等の発出状況

○航行警報 0 件

○海の安全情報 14 件 (注意喚起 14 件)

[参考] 航行警報：航行船舶に対し、航行の障害となる漂流物の存在等船舶の安全な航海のために緊急に周知が必要な情報を提供 (衛星通信、無線放送、インターネット、ファックス)

海の安全情報：広く海域利用者に対し、気象・海象の現況、気象警報・注意報の発表、大雪や発達した低気圧に伴う事故防止の注意喚起等の情報を提供 (テレホンサービス、インターネット、メール)

(7) 港湾における避難勧告等の発出状況

○第一体制 (警戒勧告) 188 港

○第二体制 (避難勧告) 78 港

(8) 湾外避難等勧告の発出状況

○瀬戸内海西部 (9 月 16 日午後 6 時)

○瀬戸内海中部 (9 月 17 日午前 0 時)

○大阪湾・紀伊水道 (9 月 17 日午後 3 時)

(9) 臨海部の施設周辺海域での錨泊制限の状況

- 長崎空港（9月18日午前5時13分）
- 北九州空港（9月18日午前7時7分）
- 志布志国家石油備蓄基地（9月16日午前6時）
- ENEOS 喜入石油基地（9月17日午後9時）

(10) 被害状況等

- 118番の通報状況 なし
- 被害状況等 認知した被害状況なし

(11) 当庁施設等の被害状況 なし

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林 代 表：03-5253-8111 内線35-822 直 通：03-5253-8461
